

2026年アルミ缶需要 200億缶 割れ予想

アルミ缶リサイクル協会はこのほど、2025暦年（1～12月）の飲料用アルミ缶の需要実績と2026暦年の需要予測を発表しました。

2025暦年の国内飲料用アルミ缶需要は、対前年比4.3%減の200億缶と12年連続で200億缶の万台をかついて維持しました。

ビール類の缶需要は、家のみの減少や23年10月に増税となった新ジャンルの落ち込みが響きました。

2026年の飲料用アルミ缶需要は、前年比1.3%減の197.3億缶と13年ぶりに200億缶を割り込むとの予測を発表しました。

10月の酒税法改正でビール需要は増加する見通しですが、発泡酒や新ジャンルの需要は減り、全体では需要が減少すると見られています。

一方で、ノンアルコールの市場は健康志向が後押しして拡大が期待されます。

日本の飲料用アルミ缶需要量（1～12月）

（単位：億缶、カッコ内は前年比%）

暦 年		2024年実績	2025年見込み	2026年予測
液種別 A 国産缶 出荷量	ビール類（発泡酒・新分野含む）	85.1（96.7）	79.7（93.6）	76.0（95.4）
	ビール 以外の 飲 料	その他のアルコール	54.2（105.0）	54.6（100.8）
		非 アル コ ー ル	67.8（100.4）	65.0（101.2）
	ビ ー ル 以 外 の 飲 料 計		118.8（97.4）	120.0（101.0）
	小 計		198.5（95.8）	196.0（98.7）
	（うちボトル缶数量）		19.7（90.0）	20.0（101.5）
B 空 缶 輸 入 量		0.4（80.0）	0.3（75.0）	0.3（100.0）
C 実 缶 輸 入 量		4.3（86.7）	4.8（112.9）	5.0（104.2）
D 実 缶 輸 出 量		2.7（96.4）	3.6（133.3）	4.0（111.1）
E 国内需要量計（A + B + C - D）		209.1（99.7）	200.0（95.7）	197.3（98.7）

夏 季 休 日
の ご 案 内

まことに勝手ながら下記のように連休とさせていただきますのでご案内を申し上げます。

8 月 8 日（土）より
8 月 16 日（月）まで

2025年度 アルミ缶リサイクル率 94.7%

このほどアルミ缶リサイクル協会は2025年度のアルミ缶のリサイクル率を以下の様に発表しました。

・アルミ缶再生利用重量

216,237トン (145.2億缶)

・アルミ缶消費重量

①国産アルミ缶 295,552トン(198.5億缶)

②輸入アルミ缶 6,508トン(5.1億缶)

③輸出アルミ缶 5,767トン(3.6億缶)

消費量総計 ①+②-③

296,292トン (200億缶)

・再生利用重量

216,237トン (国内) + 64,255トン (輸出)

=280,492トン (188.4億缶)

・リサイクル率

$\frac{\text{再生利用重量 (280,492 トン)}}{\text{消費重量 (296,292 トン)}} = 94.7\%$

消費重量 (296,292 トン)

・国内循環量でのリサイクル率

$\frac{\text{国内再生利用重量 (216,237 トン)}}{\text{消費重量 (296,292 トン)}} = 73.0\%$

消費重量 (296,292 トン)

・CAN TO CAN率

国内で再生利用されたUBCの内、アルミ缶材に再生利用された割合

$\frac{\text{缶材向け重量 (158,595 トン)}}{\text{再生利用重量 (216,237 トン)}} = 73.3\%$

・昨年度との比較

アルミ缶国内循環量 - 9.6%

アルミ缶輸出量 - 11.7%

アルミ缶消費量 - 5.3%

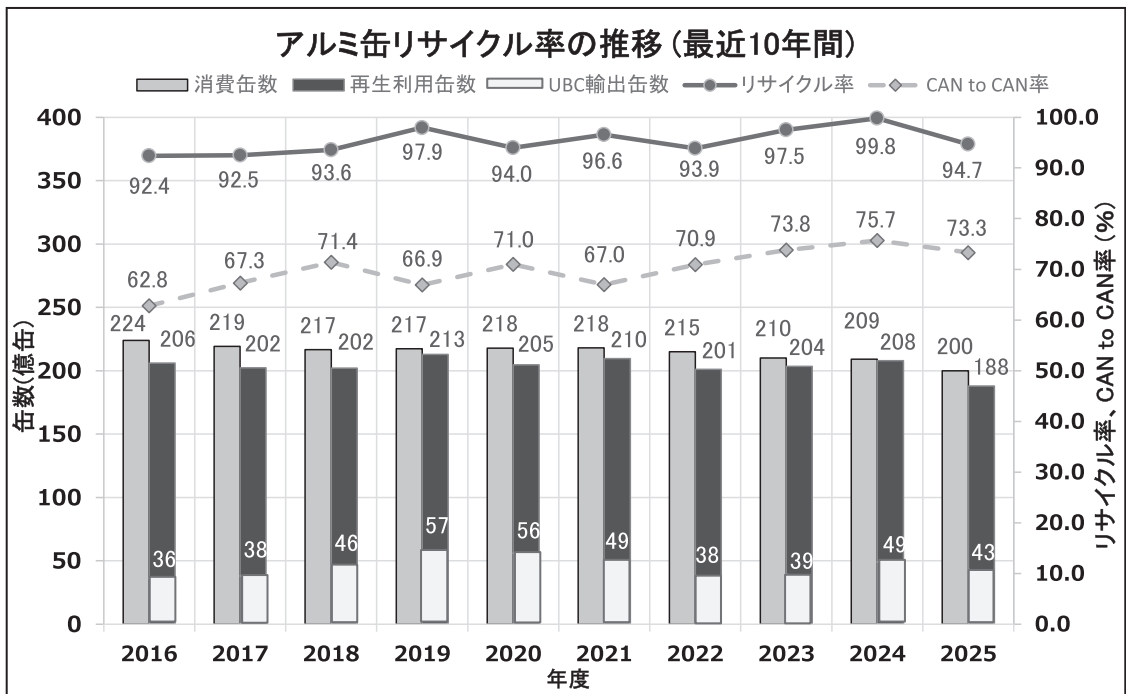
リサイクル率 - 5.1%

CAN TO CAN率 - 3.2%

「安定的に92%以上のリサイクル率を維持する」

という、アルミ缶リサイクル協会の目標は10年連続で上回りましたが、消費重量が減少したことに伴う発生減から、国内再生利用重量は減少しました。

海外流出量はタイ向け輸出の減少により落ち込みましたが、UBC価格高騰により市中在庫が増加した影響も考えられます。



令和 7 年度

アルミニウムと珪素の輸入

このほど令和 7 年度（令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月まで）のアルミニウムと珪素の輸入実績が下記のように発表されました。（単位：トン）

輸入数量を品目別に前年度と比べると、

アルミニウム地金	102.6%
合金地金	96.1%
アルミと合金のくず	109.7%
珪素	100.1%

と、合金地金の輸入量は減少しました。

政治的要因で、アルミ新地金輸入先の常連国のロシアからの輸入量は令和 4 年度より激減しました。

合金地金の輸入も、過去 20 万トン以上を依存していたロシアから、中東・アジア・アフリカ諸国と供給先が変化しています。

また、今回のホルムズ海峡封鎖に伴い、中東諸国からの輸送が滞り、輸入国順位が入れ替わりそうです。

令和 7 年度アルミと珪素の輸入通関実績

	令和 7 年度	令和 6 年度
A. アルミ地金 (99.0以上)		
①オーストラリア	300,790	308,115
②ブラジル	172,253	159,407
③アラブ首長国	135,894	112,456
④南アフリカ	98,302	87,025
⑤インド	96,009	86,132
⑥マレーシア	68,088	44,938
⑦ニュージーランド	64,949	91,312
⑧サウジアラビア	32,441	43,257
⑨オマーン	31,187	41,250
⑩ロシア	23,895	21,514
⑪その他	55,656	57,134
合計	1,079,464	1,052,540

B. 合金地金		
①アラブ首長国	249,132	275,918
②中国	146,483	119,383
③マレーシア	125,374	114,534
④ナイジェリア	62,069	88,524
⑤カザフスタン	56,856	44,625
⑥カタール	52,291	67,994
⑦オーストラリア	45,526	38,595
⑧ロシア	41,275	42,978
⑨インド	38,767	27,478
⑩ニュージーランド	37,853	32,601
⑪その他	172,686	217,216
合計	1,028,312	1,069,846

	令和 7 年度	令和 6 年度
C. アルミとアルミ合金くず		
①アメリカ	38,042	29,195
②台湾	22,203	26,944
③スペイン	5,628	716
④韓国	4,036	4,233
⑤イタリア	3,984	2,926
⑥メキシコ	3,279	3,592
⑦マレーシア	3,051	2,685
⑧タイ	2,643	2,333
⑨バングラデシュ	2,597	952
⑩イギリス	2,048	1,651
⑪その他	15,162	18,352
合計	102,673	93,579

D. 珪素		
①中国	141,116	131,813
②ノルウェー	13,404	9,282
③ラオス	7,102	7,800
④マレーシア	5,562	6,457
⑤ブラジル	3,382	11,023
⑥オーストラリア	1,133	5,067
⑦韓国	540	689
⑧フランス	360	390
⑨アングラ	100	—
⑩タイ	20	6
⑪その他	21	55
合計	172,740	172,582

26年度 安全運転管理モデル事業所

西尾安全運転管理協議会の2026年度総会が7月1日に西三河農協本店で開かれました。

26年度は「企業一体となった安全活動を推進して地域社会に貢献しよう」を目標に掲げ、

- ・組織をあげた安全管理の推進
- ・マイカー事故防止対策の推進
- ・交通安全意識の共有と歩行者保護運転の徹底
- ・地域と連携した交通安全活動の推進

を重点に活動を展開します。席上、26年度の安全運転管理モデル事業所として当社が委嘱を受けました。

(写真：委嘱状を持つ柘植茂雄安全運転管理者)



社 内 情 報

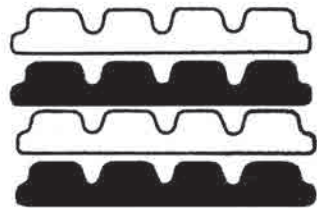
- ◎夏季休業日を1頁のご案内のように行いますので、ご協力をよろしくお願い致します。
- ◎7月17日に「ソウメン」ランチ給食が行われました。連日の酷暑で食欲がなくなっている中、タイムリーな企画ありがとうございます。次回も期待しています。
- ◎7月後半は猛暑が続き、冷却剤の補充とスポーツドリンクの配布と「酷暑日」対応に追われました。
- ◎空調服も年々進化。効果を期待します。

編 集 後 記

- ☐米国とイランの戦闘終結は見通しが立たず、NY (WTI) 原油先物価格はバレル\$70割れから\$90超えと乱高下。
- ☐外国為替市場も1ドル164円に迫る。
- ☐米国連邦最高裁の「トランプ相互関税は無効」の判断を受け、トランプ政権は対応追加関税を発行。
- ☐「庭に水、新しい畳、伊予すだれ、透綾ちぢみに、色白の髷」蜀山人の読む日本の夏は何処に。

アルミ缶リサイクリング 铸造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)

アスカ工業株式会社

〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>